

---

# NetScaler

## Citrix SSO

**Machine translated content**

### **Disclaimer**

このコンテンツの正式なバージョンは英語で提供されています。Cloud Software Group ドキュメントのコンテンツの一部は、お客様の利便性のみを目的として機械翻訳されています。Cloud Software Group は機械翻訳されたコンテンツを管理していないため、誤り、不正確な情報、不適切な用語が含まれる場合があります。英語の原文から他言語への翻訳について、精度、信頼性、適合性、正確性、またはお使用の Cloud Software Group 製品またはサービスと機械翻訳されたコンテンツとの整合性に関する保証、該当するライセンス契約書またはサービス利用規約、あるいは Cloud Software Group とのその他すべての契約に基づき提供される保証、および製品またはサービスのドキュメントとの一致に関する保証は、明示的か黙示的かを問わず、かかるドキュメントの機械翻訳された範囲には適用されないものとします。機械翻訳されたコンテンツの使用に起因する損害または問題について、Cloud Software Group は責任を負わないものとします。

## Contents

<b>iOS/macOS</b> デバイス用の <b>Citrix SSO</b>	<b>3</b>
<b>iOS</b> および <b>macOS</b> での <b>Citrix SSO</b> のサポート	<b>3</b>
よくあるご質問	<b>5</b>
リリースノート	<b>6</b>
<b>MDM</b> 環境での <b>Citrix SSO</b> アプリケーションのセットアップ	<b>10</b>

## iOS/macOS デバイス用の Citrix SSO

March 26, 2020

従来の Citrix VPN クライアントは、Apple のプライベート VPN API を使用して構築されており、現在は廃止されています。Citrix SSO での VPN サポートは、Apple のパブリックネットワーク拡張フレームワークを使用して一から書き直されます。

Citrix SSO アプリで導入された主な機能の一部を以下に示します。

- **パスワードトークン:** パスワードトークンは、VIP、OKTA などのセカンダリパスワードサービスに代わる 6 桁のコードです。このコードは、時間ベースのワンタイムパスワード (T-OTP) プロトコルを使用して、Google Authenticator、Microsoft Authenticator システムなどのサービスに似た OTP コードを生成します。ユーザーは、特定の Active Directory ユーザーの Citrix Gateway への認証中に、2 つのパスワードの入力を求められます。2 つ目の要因は、ユーザーが Google や Microsoft Authenticator などの登録済みのサードパーティサービスからデスクトップブラウザにコピーする 6 桁のコードです。ユーザーは、まず Citrix ADC アプライアンスで T-OTP に登録する必要があります。登録手順については、<https://support.citrix.com/article/CTX228454> を参照してください。アプリでは、Citrix ADC で生成された QR コードをスキャンするか、TOTP シークレットを手動で入力することで、OTP 機能を追加できます。一度追加した OTP トークンは、ユーザー・インターフェースのパスワード・トークン・セグメントに表示されます。

エクスペリエンスを向上させるために、OTP を追加すると、VPN プロファイルを自動的に作成するように求められます。ユーザーは、この VPN プロファイルを利用して、iOS デバイスから VPN に直接接続できます。

Citrix SSO アプリは、ネイティブ OTP サポートに登録する際に、QR コードをスキャンするために使用できます。Citrix Gateway のプッシュ通知機能は、Citrix SSO アプリのユーザーだけが使用できます。

- **プッシュ通知:** Citrix Gateway は登録済みのモバイルデバイスにプッシュ通知を送信し、2 要素認証を簡素化します。Citrix SSO O アプリを開いて、Citrix ADC ログオンページで 2 番目の要素 OTP を入力する代わりに、登録されたデバイスのデバイス PIN/タッチ ID/顔 ID を入力することで、身元を検証できます。

プッシュ通知用にデバイスを登録したら、Citrix SSO O アプリケーションを使用してネイティブ OTP サポート用にデバイスを使用することもできます。プッシュ通知の登録は、ユーザーに対して透過的です。ユーザーが TOTP を登録すると、Citrix ADC がプッシュ通知をサポートしている場合、デバイスもプッシュ通知に登録されます。

## iOS および macOS での Citrix SSO のサポート

March 25, 2022

多要素 (nFactor) 認証は、ユーザーがアクセスするために複数の識別証明を提供する必要があるため、アプリケーションのセキュリティを強化します。管理者は、クライアント証明書、LDAP、RADIUS、OAuth、SAML などのさまざまな認証要素を設定できます。これらの認証要素は、組織のニーズに応じて任意の順序で構成できます。

Citrix SSO は、次の認証プロトコルをサポートしています。

- **nFactor** — nFactor プロトコルは、認証仮想サーバーが Gateway 上の VPN 仮想サーバーにバインドされる場合に使用されます。認証要素の順序は動的であるため、クライアントは、アプリケーションのコンテキスト内でレンダリングされるブラウザインスタンスを使用して認証 GUI を表示します。
- **Classic** : クラシックプロトコルは、Gateway の VPN 仮想サーバで従来の認証ポリシーが設定されている場合に使用されるデフォルトのフォールバックプロトコルです。クラシックプロトコルは、NAC などの特定の認証方式で nFactor が失敗した場合のフォールバックプロトコルです。
- **Citrix** アイデンティティプラットフォーム — Citrix アイデンティティプラットフォームプロトコルは、CloudGateway または Gateway サービスへの認証に使用され、Citrix Cloud への MDM 登録が必要です。

次の表は、各プロトコルでサポートされているさまざまな認証方法をまとめたものです。

認証方法	nFactor	クラシック	Citrix IdP
クライアント証明書	サポート対象	サポート対象	未サポート
LDAP	サポート対象	サポート対象	未サポート
Local	サポート対象	サポート対象	未サポート
RADIUS	サポート対象	未サポート	未サポート
SAML	サポート対象	未サポート	未サポート
OAuth	サポート対象	未サポート	未サポート
TACACS	サポート対象	未サポート	未サポート
WebAuth	サポート対象	未サポート	未サポート
Negotiate	サポート対象	未サポート	未サポート
EPA	サポート対象	サポート対象	未サポート
NAC	未サポート	サポート対象	未サポート
StoreFront	未サポート	未サポート	未サポート
ADAL	未サポート	未サポート	未サポート
DS-AUTH	未サポート	未サポート	サポート対象

## nFactor 構成

nFactor の設定の詳細については、[nFactor 認証の設定](#)を参照してください。

**重要:** Citrix SSO で nFactor プロトコルを使用するには、推奨されるオンプレミスバージョンの Citrix Gateway は、12.1.50.xx 以降です。

## 制限事項

- nFactor プロトコルはデフォルトで無効になっています。nFactor の使用を希望されるお客様は、Citrix のサポートを明示的に要求し、VPN 仮想サーバー FQDN を提供する必要があります。
- NAC (ネットワークアクセス制御) などのモバイル固有の認証ポリシーでは、クライアントは Citrix Gateway での認証の一部として署名されたデバイス識別子を送信する必要があります。署名付きデバイス ID は、MDM 環境に登録されているモバイルデバイスを一意に識別する回転可能な秘密キーです。このキーは、MDM サーバーによって管理される VPN プロファイルに埋め込まれます。このキーを WebView コンテキストに挿入することはできない場合があります。MDM VPN プロファイルで NAC が有効になっている場合、Citrix SSO は自動的に従来の認証プロトコルにフォールバックします。

## よくあるご質問

January 11, 2023

このセクションでは、Citrix SSO アプリに関するよく寄せられる質問について説明します。

### **Citrix SSO** アプリと **Citrix** の **VPN** アプリとの違いは何ですか？

Citrix SSO は、Citrix ADC 用の次世代の SSL VPN クライアントです。このアプリは、Apple のネットワーク拡張フレームワークを使用して、iOS および macOS デバイス上の VPN 接続を作成および管理します。Citrix VPN は、Apple のプライベート VPN API を使用したレガシー VPN クライアントであり、現在は廃止されています。Citrix VPN のサポートは、今後数ヶ月以内に App Store から削除されます。

### **NE** とは何ですか？

Apple のネットワーク拡張 (NE) フレームワークは、iOS と macOS のコアネットワーク機能をカスタマイズして拡張するために使用できる API を含む最新のライブラリです。SSL VPN をサポートするネットワーク拡張機能は、iOS 9 以降および macOS 10.11 以降を実行しているデバイスで使用できます。

### **Citrix SSO** と互換性があるのはどのバージョンの **Citrix ADC** ですか？

Citrix SSO の VPN 機能は、Citrix ADC バージョン 10.5 以降でサポートされています。TOTP は、Citrix ADC バージョン 12.0 以降で使用できます。Citrix ADC でのプッシュ通知は、まだ公表されていません。アプリには、iOS 9 以降と macOS 10.11 以降のバージョンが必要です。

### **MDM** 以外のお客様に対する証明書ベースの認証はどのように機能しますか？

Citrix VPN でクライアント証明書認証を実行するために電子メールまたはブラウザ経由で証明書を配布していたお客様は、Citrix SSO を使用するときこの変更にご注意する必要があります。これは、MDM サーバーを使用してユーザー証明書を配布しない非 MDM のお客様にほとんど当てはまります。証明書を配布するには、「電子メールによる Citrix SSO への証明書のインポート」を参照してください。

ネットワークアクセスコントロール (NAC) とは何ですか。Citrix SSO および Citrix Gateway を使用して NAC を設定するにはどうすればよいですか。

Microsoft Intune および Citrix Endpoint Management (以前の XenMobile) MDM のお客様は、Citrix SSO のネットワークアクセス制御 (NAC) 機能を利用できます。NAC を使用すると、管理者は MDM サーバによって管理されるモバイルデバイスの認証レイヤを追加することで、企業の内部ネットワークを保護できます。管理者は、Citrix SSO で認証時にデバイスのコンプライアンスチェックを強制することができます。

Citrix SSO で NAC を使用するには、Citrix Gateway と MDM サーバーの両方で NAC を有効にする必要があります。

- Citrix ADC で NAC を有効にするには、[これリンク](#)を参照してください。
- MDM ベンダーが Intune の場合は、[これリンク](#)を参照してください。
- MDM ベンダーが Citrix Endpoint Management (以前の XenMobile の) である場合は、[これリンク](#)を参照してください。

注: サポートされる Citrix SSO の最小バージョンは 1.1.6 です。

## リリースノート

April 9, 2020

Citrix SSO リリースノートでは、新機能、既存機能の拡張、修正された問題、およびサービスリリースで利用できる既知の問題について説明します。リリースノートには、次のセクションの 1 つ以上が含まれます。

新機能: 現在のリリースで利用可能な新機能と拡張機能です。

修正された問題: 現在のリリースで修正された問題。

既知の問題: 現在のリリースに存在する問題とその回避策 (該当する場合)。

### V2.3.14

#### 解決された問題

- Citrix SSO が最終的な VPN セッション確立メッセージを正しく処理するようになりました。  
[CGOP-12488]

#### 既知の問題

- 常にオン VPN ステータスは、アプリのユーザーインターフェイスで正しく更新されるとは限りません。  
[NSHELP-21709]

### V2.3.13

#### 解決された問題

- Citrix Gateway の IP アドレスは一度だけ解決されるようになりました。  
以前は、Citrix Gateway の IP アドレスが複数回解決され、接続に失敗することがありました。  
[CGOP-12101]

#### 既知の問題

- 常にオン VPN ステータスは、アプリのユーザーインターフェイスで正しく更新されるとは限りません。  
[NSHELP-21709]

### V2.3.12

#### 解決された問題

- VPN プロファイルを保存すると、Citrix SSO がクラッシュすることがあります。  
[CGOP-12137]

### V2.3.11

#### 解決された問題

- VPN プロファイルを保存すると、Citrix SSO がクラッシュすることがあります。  
[CGOP-12137]
- 新しい VPN プロファイルまたは既存のプロファイルへの更新によって disableUserProfile 値が変更されると、disableUserProfile 設定がユーザーインターフェイスに正しく反映されません。  
[CGOP-11899]
- Citrix SSO for Android は、デバイスオーナー（DO）モードで VPN プロファイルを処理しません。  
[CGOP-11981]
- IPv6 のみローカル DNS サーバーが存在する場合、VPN 接続は確立されません。  
[CGOP-12053]

### V2.3.10

#### 解決された問題

- デバイス上で何らかのアイドル時間が経過すると、VPN 接続が失われました。

[CGOP-11381]

## V2.3.8

### 新機能

- **Intune Android Enterprise** 環境で **Citrix SSO** アプリをセットアップする

Intune Android Enterprise 環境で Citrix SSO アプリを設定できるようになりました。詳しくは、「[Intune Android Enterprise 環境で Citrix SSO アプリをセットアップする](#)」を参照してください。

[CGOP-635]

- **Android Enterprise** 経由の **VPN** プロファイルの **Provisioning** のサポート

Android Enterprise 経由の VPN プロファイルの Provisioning がサポートされるようになりました。

[CGOP-631]

### 解決された問題

- すでに保存されているトークンを保存して開こうとすると、トークン名に文字化けした文字が表示されます。

[CGOP-11696]

- Citrix Gateway で DNS 検索ドメインが構成されていない場合、Citrix SSO アプリが VPN セッションの確立に失敗します。

[CGOP-11259]

## V2.3.6

### 新機能

- **Citrix SSO** の **AlwaysON** サポート

Citrix SSO の AlwaysON 機能を使用すると、ユーザーは常に企業ネットワークに接続できます。この永続的な VPN 接続は、VPN トンネルの自動確立によって実現されます。

[CGOP-10015]

- **Athena** トークンの有効期限が切れてログアウトが発生した場合、再ログインの通知が表示されます。

次の条件が満たされると、Citrix Workspace への再ログインを要求する通知が表示されます。

- Citrix Workspace でプロビジョニングされた VPN プロファイルで AlwaysON 機能が有効になっている
- SSO には Athena 認証が使用されます。



- Athena トークンの有効期限が切れたため、ユーザーは Citrix Workspace アプリからサインアウトされています

[CGOP-10016]

- プッシュ通知サービスの登録は、**Citrix Gateway** を使用して行います。

Citrix Gateway アプライアンスを使用してプッシュ通知サービスに登録できるようになりました。以前は、クライアントデバイス上で登録が行われていました。

[CGOP-10542]

#### 解決された問題

新しいトークンがスキャンされると、Citrix SSO がクラッシュすることがあります。たとえば、既存のトークンが削除され、別のトークンが同じトークン名でスキャンされると、Citrix SSO がクラッシュします。

[CGOP-10818]

## V2.3.1

### 新機能

- 管理された構成が更新され、より多くのユーザー設定が含まれます。

管理対象の設定は、Android Enterprise 環境の「ブロックされていないサーバー」、「デフォルトプロファイル名」、「無効ユーザープロファイル」の設定を含むように更新されます。

[CGOP-10033]

- プッシュ通知のサポートの強化

Citrix Gateway でプッシュ通知を「OTP」タイプに設定した場合、ユーザーがプッシュ通知を「許可」を選択した後、PIN/フィンガープリントは確認されません。

[CGOP-9843]

- **Firebase** アナリティクスのサポート

基本的な Firebase アナリティクスのサポートが追加され、Citrix SSO アプリの使用状況に関する情報が提供されます。この強化は、粗いジオロケーション、画面の使用、使用中の Android の異なるバージョンなどに適用されます。

[CGOP-7523]

- **Android** 管理対象設定ベースの **VPN** プロファイル設定のサポート

Citrix SSO アプリケーションは、Citrix Endpoint Management などの EMM/UEM ベンダーを使用して、Android Enterprise 環境で設定することができます。CEM の Android Enterprise 管理構成ウィザードを使用して、管理された VPN 構成を Citrix SSO アプリケーションに展開できます。管理対象構成を使用して Citrix SSO アプリを構成する方法については<https://info.citrite.net/x/8TIFTw>を参照してください。

## V2.2.9

### 新機能

- プッシュ通知のサポート

Citrix Gateway は、登録済みのモバイルデバイスにプッシュ通知を送信し、2 要素認証を簡素化します。

[CGOP-9592]

### 解決された問題

- [接続の追加] 画面の [サーバー] フィールドには、URL 以外の文字を使用できます。

[CGOP-588]

## MDM 環境での Citrix SSO アプリケーションのセットアップ

March 26, 2020

MDM 環境で Citrix SSO アプリケーションをセットアップするには、「[Android 向け Citrix SSO プロトコルの構成](#)」を参照してください。

### 注:

- MDM 以外では、ユーザは VPN プロファイルを手動で作成します。
- また、Citrix SSO 用の Android Enterprise 管理対象構成を作成することもできます。詳しくは、「[Android Enterprise に対する VPN プロファイルの構成](#)」を参照してください。



---

# NetScaler

© 2023 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).